

高齢者のDOTSと 結核早期発見のために

～ 早期発見できるのはあなたです！！～

相模原市保健所
疾病対策課

結核研究所から

高齢者施設・介護職員対象の
結核ハンドブック
が作成されました。

結構
使えるんだな～



DOTSとは？

ハンドブックP.13

D O T S

(Directly Observed Treatment Short-course)
(直接監視下短期化学療法)

飲み忘れないように、
服薬するのを誰かに見届けてもらう方法

なぜDOTSが必要？

ハンドブックP.13

- 服薬中断は、再発が多い。
- 服薬中断は、耐性菌（薬が効かない菌）になることが多い。
- 確実に服薬してもらおう、唯一の方法



中断したら、
薬が効かない菌に
なってやるぜ～

DOTSってどうやってるの？



- 直接服薬確認（目の前で飲んでもらう）
- 薬の殻の確認（薬の殻の数と日数の確認）

患者さんの状況を
アセスメントして、
頻度を決めます。



DOTSって誰がやってるの？

ハンドブックP.13

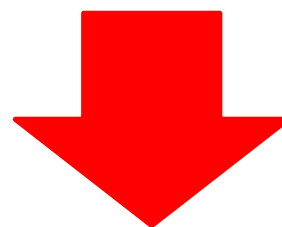
- ・ 薬局による服薬支援
- ・ 服薬支援員による服薬支援
- ・ 保健所での服薬支援
- ・ 家族による服薬支援
- ・ 職場や通院先や福祉施設など . . .



「結核に関する特定感染症予防指針」が 改定されました！

H28.11適用

患者の生活環境にあわせ、
DOTSを推進することが必要



保健所は、地域DOTSの拠点として、
関係機関への地域DOTS実施
依頼等、積極的に調整を行う。



地域DOTSの事例




- 83歳 男性 息子家族と同居
- 他の疾患にて入院治療中に胸部X線所見があることから精査 **結核診断**
- 結核病床に入院、その後一般病床へ転院
- 内服継続中に退院。 **有料老人ホームへの入所が決定。**

入所時の本人の状況



- 治療完了まで半年以上内服が続く。
- 結核菌検査の結果を確認している。
- 食欲改善してきた。発熱なし。
- 付き添いがあればトイレまで歩ける。

施設にご協力いただいたこと

- 服薬確認（職員が毎日確認、服薬メモの返送）
- 定期的に体重測定をすること（処方量に影響）
- 咳症状、痰症状、体調の観察 
- いつもとちがう時は 早期受診をする
- 服薬終了後の管理健診（半年毎2年間）の受診フォロー

保健師が施設に訪問させていただき、打ち合わせの場を設けていただきました。



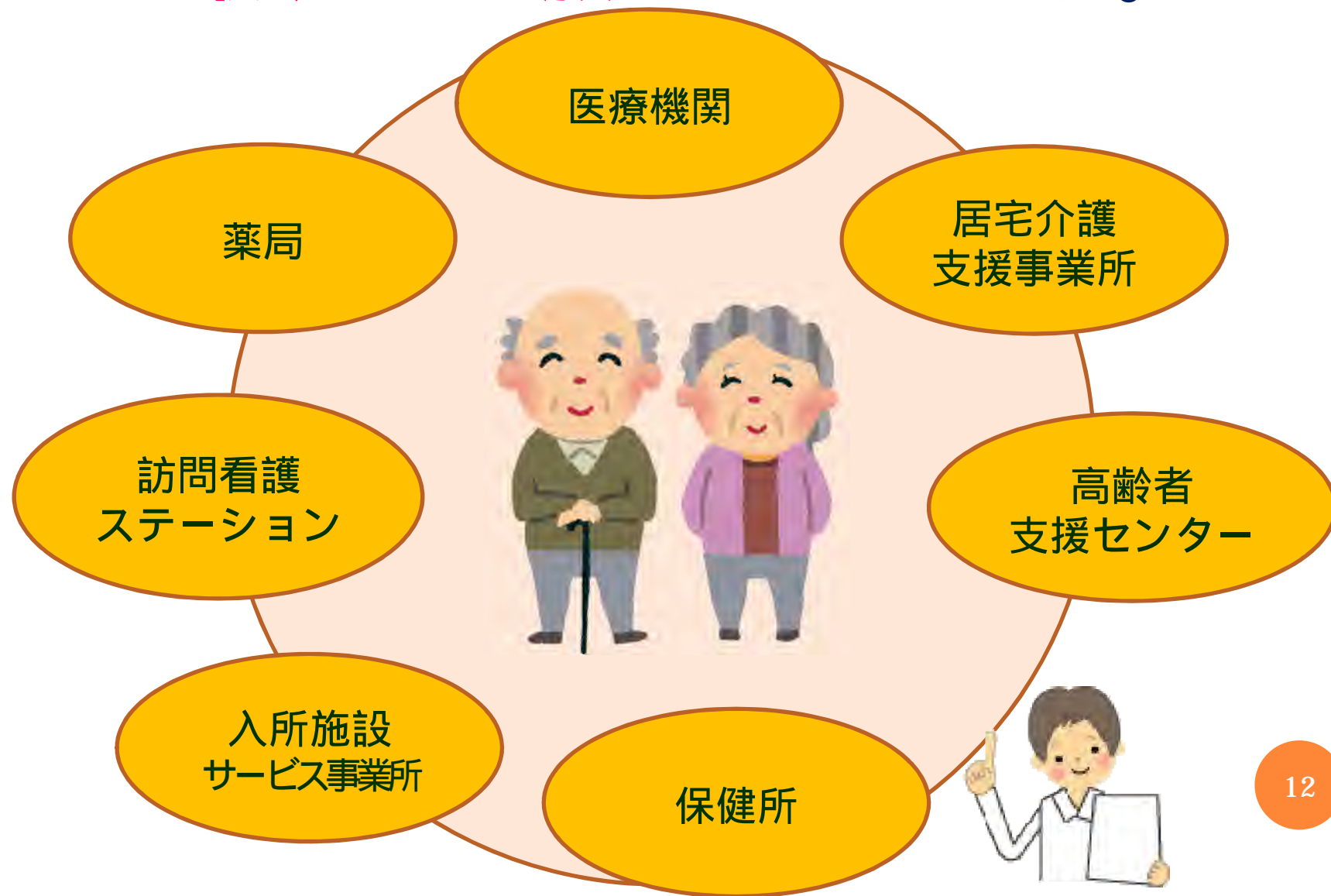
無事に、治療が成功しました！

・施設のご協力のもと、最後まで確実なDOTSができました！ありがとうございました！

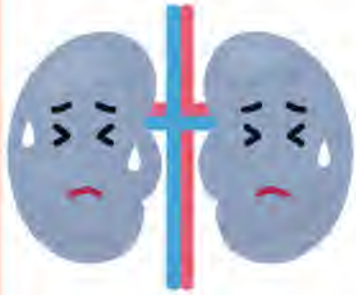
・在宅スタッフにDOTSのご協力をお願いしたこともあります。



今後とも、患者様の治療のため ご協力をお願いいたします。



結核発病のリスク



ステロイド
の
長期使用



糖尿病



人工透析



じん肺



胃切除



がん



喫煙



すでに結核菌に感染している
割合の推計（2015年）

65歳 23.9%

75歳 48.8%

85歳 73.1%



※ 疫学情報センター 結核既感染者数の推計より

つまり高齢者は・・・

既に結核菌に感染している方が多い



抵抗力が落ちている



高齢者は
結核を**発病するリスク**がある

高齢者の結核の症状

ハンドブックP.7

結核の症状



咳
たん
発熱
だるさ



高齢者の
症状

微熱
食欲がない
体重減少
全身衰弱など



結核によくある症状が
出ないことがあります!!

高齢者の結核の問題点

高齢者は
症状が
目立たない



診断の遅れ
による
重症化



1年以内の
死亡率が高い

早期発見のために
みなさんのお力が必要です!!

早期発見のポイント

ハンドブック
P.16～18

健康状態の確認を行う

異変に気付き受診へつなげる

毎年胸部X線検査を
受けてもらう



事例

- 87歳 男性
- H27. 7 デイサービス・訪問看護の利用開始
時々咳あり。活気がない事あり。
- H28. 7 有料老人ホームへ入所
- H28.10 入所時にあたり胸部X線検査をし、
陰影あり、結核を疑い受診。
- H28.10 喀痰検査は陰性、肺がんを疑い精査。
- H29. 6 食欲低下し食べることが
できなくなり、受診し、入院。
- H29. 7 入院時の喀痰検査等から結核診断。

症状ありの利用者



つなぐ



【入所施設】
生活拠点：施設

施設全体で意識し、
対策が必要

【通所・訪問】
生活拠点：自宅

利用者, 家族, ケアマネと
情報共有・受診の
すすめ

～ぜひ、今後に活かしてください～

定期健康診断(胸部X線検査)の実施、結果管理を！
感染症の法律 65歳以上は胸部X線検査毎年1回

受診の際は、経過全体を医師に伝える
必要に応じて、胸部X線検査、喀痰検査の実施を依頼

施設・事業所として、結核への対応を決めておく！
例：誰もが分かるようにマニュアルを作成して設置する等

ぜひ、ハンドブックをご活用ください。
定期健診や日常生活の観察ポイントが
載っています。



「いつもとちがう」に気が付いて

一番身近で、
様子を知っているみなさんが

早期発見の力を
握っています！！



結核お役立ち情報



結核研究所のホームページから、
資料がダウンロードできます。

『結核研究所Q & A集』

『高齢者施設・介護職員対象の結核ハンドブック』

『高齢者介護に関わる人のための“結核”基礎知識』
(リーフレット)

結核の伝道師としてお願いします

施設や事業所へ戻られて
今回の研修内容を
お伝えください！！

